

7つのトランスフォニー

(英タイトル : 7 trans-phonies)

東京文化プログラム

2017年4月22日(土)～7月9日(日)

トーキョーワンダーサイト渋谷

ー 東京で滞在制作をした、海外のクリエイターたちによる展覧会

トーキョーワンダーサイト(TWS)では、世界中のクリエイターが滞在制作を行うレジデンス・プログラム「クリエイター・イン・レジデンス」を2006年に開始しました。アート、映像、音楽、建築など様々なジャンルや国籍のクリエイターたちが、東京や海外の派遣先を舞台に滞在制作を行っています。

本展では、2015年から2016年にTWSレジデンスに滞在した7名による作品を発表します。ボーダーレスな都市・東京は、そこで暮らし出会う一人ひとりの声が集まり重なった様々な協和音、不協和音を奏でています。ひとつに聞こえる音の中にも、実は様々な波動が含まれています。海外から東京に来たクリエイターたちは、異文化の声、異国での隣人の声、東京で出会ったアーティストたちの声を聞き、自らの声と合わせて文化間を越える新たな声／音“トランスフォニー”を生み出します。

7名のクリエイターによる7つのトランスフォニーをぜひご鑑賞ください。

■ 展覧会概要

展覧会名：7つのトランスフォニー

会期：2017年4月22日(土)～7月9日(日)

会場：トーキョーワンダーサイト渋谷 (東京都渋谷区神南 1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館 1F)

開館時間：11:00～19:00 (最終入場は30分前まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

入場料：無料

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

クリエイター：アンドレアス・グライナー(ドイツ)、ミルナ・バーミア(パレスチナ)、リギョン(韓国)、ラウル・ワルヒ(ドイツ)、シリン・サバヒ(ドイツ)、エリック・シュミット(ドイツ)、ホウ・イーティン(台湾)

提携都市/機関：ベルリン市/クストラウム・クロイツベルク/ベタニエン(ドイツ・ベルリン)、アーツ・イン・レジデンス台北/トレジャーヒル・アーティスト・ヴィレッジ(台湾・台北)

ウェブサイト：<http://www.tokyo-ws.org>

<お問い合わせ>

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京現代美術館リニューアル準備室内

公益財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト 広報担当：市川、藤井

TEL: 03-5633-6373 / FAX: 03-5633-6374 E-mail: press@tokyo-ws.org



tokyo wonder site

Institute of Contemporary Art and
International Cultural Exchange, Tokyo

■ オープニング・トーク ※日英逐次通訳あり／予約不要

日時： 4月22日（土）15:00～17:00

会場：トーキョーワンダーサイト渋谷

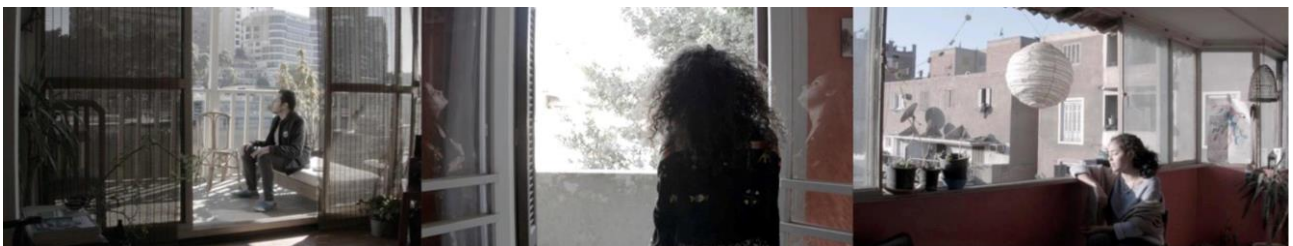
参加クリエイター（予定）：

アンドレアス・グライナー（ドイツ）、ミルナ・バーミア（パレスチナ）、リギョン（韓国）、
ラウル・ワルヒ（ドイツ）、エリック・シュミット（ドイツ）、ホウ・イーティン（台湾）

■ 展覧会のみどころ

本展で紹介する7名のクリエイターは、2015年から2016年にTWSのレジデンス・プログラムに参加し、東京都墨田区にあるTWSレジデンスで約3ヶ月の滞在制作を行いました。世界各地で活躍する彼らが東京の街や文化に触れ、様々なリサーチを通して制作した作品を発表します。

アンドレアス・グライナーは滞在中に発光生物の調査研究を行ない、富山で撮影したホタルイカの映像とタイラー・フリードマンによる曲を合わせたオーディオ・ヴィジュアル・インスタレーションを展示予定。ミルナ・バーミアは、つらい時に心に安らぎをもたらすメロディーを様々な国の人々にハミングしてもらい、その声をひとつの曲にした《ハミング・プロジェクト》を発表します。リギョンは、日本の伝統建築における襖と床の間の役割に着目し、レンチキュラーと鏡を用いた絵画を展示。ラウル・ワルヒは1964年の東京オリンピックで金メダルを獲得したエチオピアのアベベにまつわる作品をはじめ、同じベルリン芸術大学空間実験研究所（オラファー・エリアソン・クラス）出身のグライナーや田村友一郎とのコラボレーション作品を展示する予定です。イラン出身のシリル・サバヒは、テヘラン現代美術館に常設展示されている原口典之氏の《オイルプール》について原口氏にインタビューを行い、映像作品を制作しました。エリック・シュミットは、東京のサラリーマンの日常と幻想が交差する映像作品を展示します。弁当を通して台湾と日本の歴史、現代社会における日本女性の労働についてリサーチを行ったホウ・イーティンは、台湾の駅弁を題材とした映像作品を発表します。



ミルナ・バーミア 《(dis)concert: a humming project》 2016- ビデオ・サウンド・インスタレーション

■ クリエータープロフィール

アンドレアス・グライナー | Andreas Greiner (2016 年度海外クリエイター招聘プログラム)

1979 年ドイツ生まれ。ベルリンを拠点に活動。2013 年ベルリン芸術大学空間実験研究所（オラファー・エリアソン・クラス）修了。「六本木アートナイト 2016」参加。

生物そのものを作品に取り入れ、存在のはかなさや移り変わり、人と生物の係わりや関係を探究。科学者や技術者、音楽家らと協働して、彫刻、写真、パフォーマンス作品を発表している。

ミルナ・バーミア | Mirna Bamieh (2016 年度海外クリエイター招聘プログラム)

1983 年パレスチナ生まれ。ラマッラー（パレスチナ）を拠点に活動。2013 年ベツァルエル美術デザイン学院修了。アシュカル・アルワン・レバノン現代芸術協会ホーム・ワークス・プログラム 2013/2014 参加。

土地や領域、アイデンティティの問題と常に直面しながら活動している。紛争地を写す画像や映像にあふれる現代社会において、それらを加工することで身体に刻印された苦悩やトラウマを浮き彫りにする。

リギョン | Ligyung (2016 年度海外クリエイター招聘プログラム)

1969 年韓国生まれ。ソウルを拠点に活動。1998 年チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン（ロンドン）修了。2014 年に銀座メゾンエルメスにて「『逆転移』リギョン展」開催。

「見えるものを信じる」ことの不完全性を問い続けながら、光やサウンド、複雑に編み込まれたレンチキュラーなどを用いた作品を発表している。

ラウル・ワルヒ | Raul Walch (2015 年度海外クリエイター招聘プログラム)

1980 年ドイツ生まれ。ベルリンを拠点に活動。2012 年ベルリン芸術大学空間実験研究所（オラファー・エリアソン・クラス）修了。

社会学的な観点から世界各地における人権問題や労働問題、政治的な課題を調査し、彫刻、コンセプチュアル・アート、パフォーマンス等を通し、サイトスペシフィックな作品を発表している。

シリン・サバヒ | Shirin Sabahi (2016 年度二国間交流事業プログラム<ベルリン>)

1984 年イラン生まれ。1980 年代のイラン・イラク戦争下にイランで日本のアニメを見て育ち、日本の「カワイイ」文化の持つ二面性、形の抽象化に関心を抱く。簡略化・抽象化された形に意味を付与する可能性について探究し、写真や映像作品、テキスタイル作品を制作している。

エリック・シュミット | Erik Schmidt (2015 年度二国間交流事業プログラム<ベルリン>)

1968 年ドイツ生まれ。ベルリンを拠点に活動。2000 年ベルリン芸術大学修了。

ドイツの貴族が嗜む狩猟、ニューヨークのダウントウンにおけるオキュパイ運動、イスラエルの地方労働者といった、その土地で受け継がれる習慣や文化、社会問題に触れ絵画を制作する。また、自ら出演し、これらの主題を扱ったパフォーマンスを撮影した映像作品も発表している。

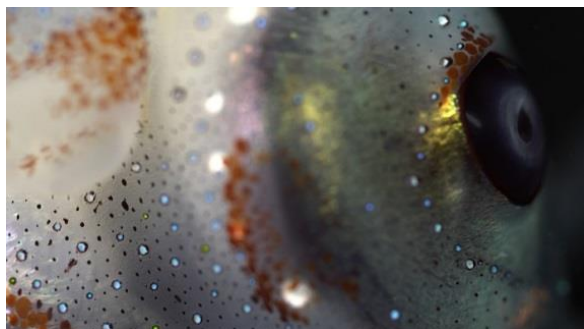
Hou I-Ting | Hou I-Ting (2015 年度二国間交流事業プログラム<台北>)

1979 年台湾生まれ。台北を拠点に活動。2008 年国立台南芸術大学大学院修了。

機械やデジタル技術が人の行為をどのように変化させているかを検証し、急速に変化する近代、現代社会における労働、身体性に着目した作品を制作している。

■ 広報用画像

※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。



1 アンドレアス・グライナー
《Studies of an Alien Skin》 2016 映像



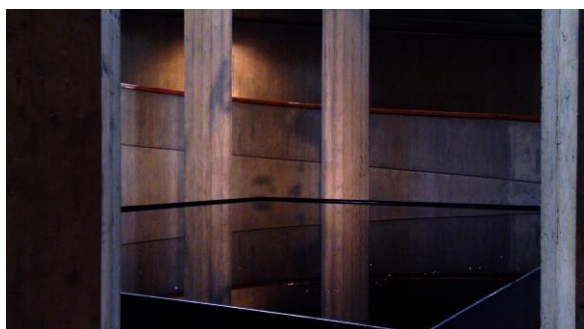
2 ミルナ・パーミア
《(dis)concert: a humming project》 2016-
ビデオ・サウンド・インスタレーション



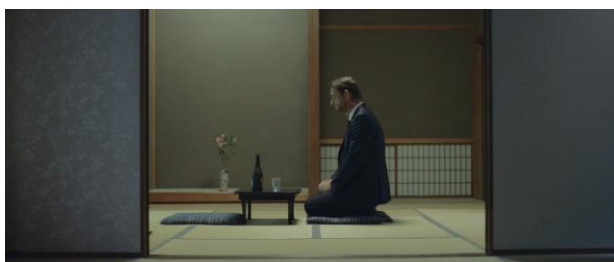
3 リギョン
《more Light:Gazing into the void》 2014
レーザーライト、煙霧、マルチチャンネルサウンド



4 ラウル・ワルヒ
《Miraculous Semaphore》 2016
メインセール、三角帆、帆布にテキスタイル彩色



5 シリン・サバヒ
《Borrowed Scenery》 2017 映像



6 エリック・シュミット
《Cut/Uncut》 2015 映像



7 ホウ・イーティン
《Sewing Field》 2015 パフォーマンス



7つのトランスフォーニー
広報用画像申込書

Fax 番号: **03-5633-6374**

Email: **press@tokyo-ws.org**

トーキョーワンダーサイト広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6 7

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールにてご連絡ください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請し直してください。

※画像は、メールにてデータをお送りします。お手元に届くまでのお時間を2~3日ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像は、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web でのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記などを施してください。

※事前に記事原稿を拝見させていただきますよう、お願いします。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVD を一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。

< お問い合わせ > ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室内

公益財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト 広報担当: 市川、藤井

TEL: 03-5633-6373 / FAX: 03-5633-6374 / E-mail: press@tokyo-ws.org